元気！長生き！
太陽生命

News Release

2022年9月14日

各　位

太陽生命保険株式会社
代表取締役社長　副島　直樹

太陽生命、「東京都住宅供給公社」が発行する「ソーシャルボンド」への投資を実施
～ＥＳＧ投融資を通じたＳＤＧｓへの貢献～

Ｔ＆Ｄ保険グループの太陽生命保険株式会社（社長　副島直樹）は、ＥＳＧ投融資の一環として、東京都住宅供給公社（以下、「同公社」）が発行するソーシャルボンド（以下、「本債券」）への投資を決定いたしましたのでお知らせいたします。

当社が投資する本債券の調達資金は、同公社の展開する住宅事業に活用され、少子高齢社会や環境問題への対応、防災性の向上、地域コミュニティの活性化など、東京都が抱える社会的課題の解決や、国連の持続可能な開発目標（ＳＤＧｓ）の達成に貢献します。

なお、本債券は株式会社格付投資情報センターＲ＆Ｉより、セカンド・パーティ・オピニオンを取得し、国際資本市場協会（ＩＣＭＡ）が定義する「ソーシャルボンド原則2020」に適合していると認められております。

＜本債券の発行概要＞

発 行 体：　東京都住宅供給公社（Ｒ＆Ｉ格付：ＡＡ）
名　　称：　ソーシャルボンド
発行総額：　60億円
償還期間：　20年
ＳＤＧｓ：本債券によって調達された資金は、同公社の事業を通じて、ＳＤＧｓの下記目標の達成に貢献します。

当社は、2007年３月に日本の生命保険会社として初めて「責任投資原則（ＰＲＩ）」(*)に署名し、環境（Ｅ）、社会（Ｓ）、企業統治（Ｇ）の課題に十分配慮し、持続可能な社会の実現に向けた資産運用を行っています。今後とも、責任ある機関投資家として、「Ｔ＆Ｄ保険グループＥＳＧ投資方針」に基づき、事業活動を通じて社会的課題の解決に貢献する取組みを進めてまいります。

以　上

(*) 責任投資原則(PRI＝Principles for Responsible Investment)とは、2005年に当時の国連事務総長であったコフィー・アナン氏が金融業界に対して提唱した原則です。投資の意思決定プロセスや株式所有方針の決定に際して、環境・社会・企業統治（ＥＳＧ）の課題を考慮し、受益者のために、より優れた長期的な投資効果と持続的な金融市場を実現していくための行動規範です。

さあ、保険の新次元へ。
T&D保険グループ

太陽生命保険株式会社　広報部
東京都中央区日本橋２－７－１